

2025 年度 (公社)新潟県栄養士会 第 3 回 理事会 次第

日時：2025 年 10 月 18 日 (土) 13:00~16:30

会場：Zoom

URL: <https://zoom.us/j/92383293424?pwd=abd2yjtcRQQFa8XiJ9LdxmkVKaxQFd.1>

ミーティング ID: 923 8329 3424

パスコード: 5kSyJs

1	開会あいさつ		斎藤会長
2	審議		
	(1) 2026 年度新潟県栄養士会事業計画・基本方針 (案) について	p 1~	斎藤会長
	(2) 旅費について	p 5	石月事務局長
	(3) 特定費用準備資金 (学術的費用) について	p 6~	北林常任理事
	(4) 新潟県栄養士会勤労者支援・地域活動事業部統合 について	p 8	山川常任理事
	(5) 機関誌『栄養新潟』について	p 9~	山川常任理事
	(6) 2026 年度生涯教育・職域研修その他研修の 整理・一体化について	p 13	村山副会長
	(7) 賛助会員入会申請について	p 14~	山田専務理事
3	報告		
	(1) 大阪・関西万博参加について		斎藤会長
	(2) 栄養改善学会展示について		村山副会長
	(3) 2025 年度関東甲信越地区栄養士会長 行政・連盟合同会議について	p 19~	高橋副会長 角谷監事
	(4) 支部長アンケートの結果について	p 21~	石月事務局長
	(5) 支部長引き継ぎ事項について	資料 2	山田専務理事
	(6) 各種表彰受賞者について	p 32	山田専務理事
	(7) 2025 年度上半期の代表理事、専務理事 業務執行について	p 33~	三役
	(8) 2026 年度事業計画・予算提出の留意事項等につい て	p 40	石月事務局長
	(9) 栄養ケア・ステーション拡大事業における 営業について	p 41~	山田専務理事
	(10) 栄養士研修会について		石月事務局長
4	その他		
	第 4 回会議日程 ・常任理事会 2026 年 2 月 26 日 (木) 18:00~20:30 Zoom ・理事会 2026 年 3 月 7 日 (土) 13:00~16:30 Zoom		山田専務理事
5	閉会の挨拶		村山副会長

理事会参加予定者名簿

		氏名	(役職)	
理事	代表理事	会長	斎藤 トシ子	
		副会長	村山 稔子	
		副会長	高橋 洋平	
	専務理事		山田 祥子	
	支部理事	村上	北林 紘	支部長
		新発田	伊藤 涼子	支部長
		新潟市	治田 麻理子	支部長
			石墨 清美江	部員
			竹内 瑞希	部員
			久志田 順子	部員
		佐渡	佐々木 佳子	支部長
		三条	内田 悠香	支部長
		長岡	中俣 裕子	支部長
			山岸 美恵子	副支部長
		柏崎	金子 幸子	支部長
		魚沼	鶴川 一寛	支部長
		十日町	村山 千晶	支部長
		上越	内山 智子	支部長
	職域事業部理事	公衆衛生	土田 直美	事業部長
		研究・教育	堀川 千嘉	事業部長
学校健康教育		丸山 朝美	事業部長	
医療		小林 昌子	事業部長	
勤労者支援		渡辺 絵里子	事業部長	
福祉		斉藤 幸子	事業部長	
地域活動		山川 琴栄	事業部長	
顧問		入山 八江		
顧問		折居 千恵子		
監事		角谷 ヒロ子		
監事		大平 真由美		
事務局		石月 公美子	事務局長	

事業の基本方針

新潟県栄養士会は、「専門職倫理の誓」として、私たち管理栄養士・栄養士は、「食を通して、ひとびとが、いつ、いかなるときも、喜びと尊厳をもって幸せに生きることを支え助ける使命を担い、その達成に最善を尽くす」こと、「ひとりひとりの食の営みに寄り添いながら、来るべき健やかな社会づくりに貢献し、そのために、同僚、専門職、その他の関係者と広く連携するとともに、その要となって協働の伸展に努める」こと、「栄養の科学とその実践の技術により、食をとおして人の命を預かる職責を課された専門職として、生涯にわたりこれらの科学と技術の習得に努める」ことを誓約しています。

また、2025 年 3 月策定の「健康立県」の実現をみざす、健康づくり関係 4 計画 [健康にいがた 21（第 4 次）、第 4 次新潟県食育推進計画、新潟県歯科保健医療計画（第 6 次）及び新潟県がん対策推進計画（第 4 次）]、2024 年 3 月策定の第 8 次新潟県地域保健医療計画、2023 年 3 月修正の新潟県地域防災計画等においては、管理栄養士・栄養士の活動の充実強化が求められています。

そこで当会は、これらの実現に向け、次の点を重点とし事業を展開します。

1 食育の推進

- 1) ライフコースアプローチを踏まえた生涯にわたる健康づくりを支える食育の推進
- 2) 県および市町村との連携・協働の推進
- 3) 認定栄養ケア・ステーションとの連携強化

2 低栄養予防および在宅医療（栄養）の推進（地域包括ケアの推進）

- 1) 支部活動の強化
- 2) 同職種および他（多）職種との連携強化
- 3) 保健所、医療機関、福祉施設、地域包括支援センター等との連携強化
- 4) 認定栄養ケア・ステーションとの連携強化

3 大規模災害時の栄養・食生活支援体制の整備

- 1) 県栄本部と支部の連携強化
- 2) 県栄の災害支援マニュアル等に基づくシュミレーション訓練の推進
- 3) 県、市、他団体、企業等とのネットワーク構築
- 4) 県内 JDA-DAT スタッフ・リーダーのネットワーク構築
- 5) JDA-DAT スタッフ養成研修の拡充

4 栄養の科学と実践スキルの向上を図るための研修の強化

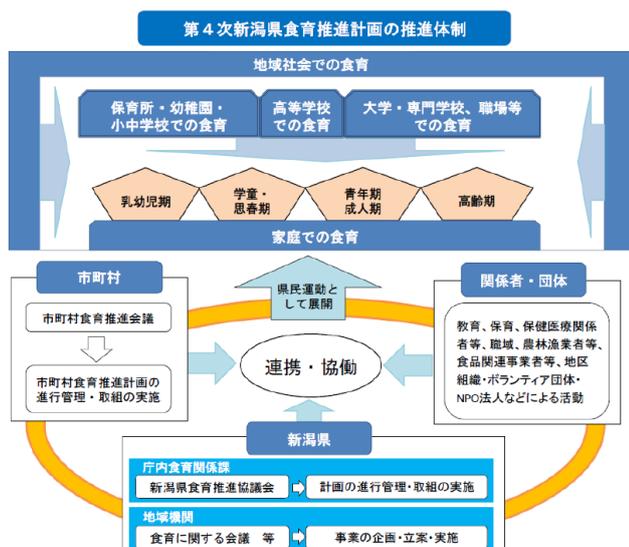
- 1) 生涯教育、職域研修、その他研修の整理および一体的・魅力的研修の構築
- 2) 実践現場における実践報告（実践研究）の促進と成果の発信に向けての支援セミナーの推進

5 会員増対策の強化

- 1) 顔の見える関係づくりの強化
- 2) HP、Instagram、栄養新潟、チラシ等での情報発信の強化

重点事項の概念図

1 食育の推進

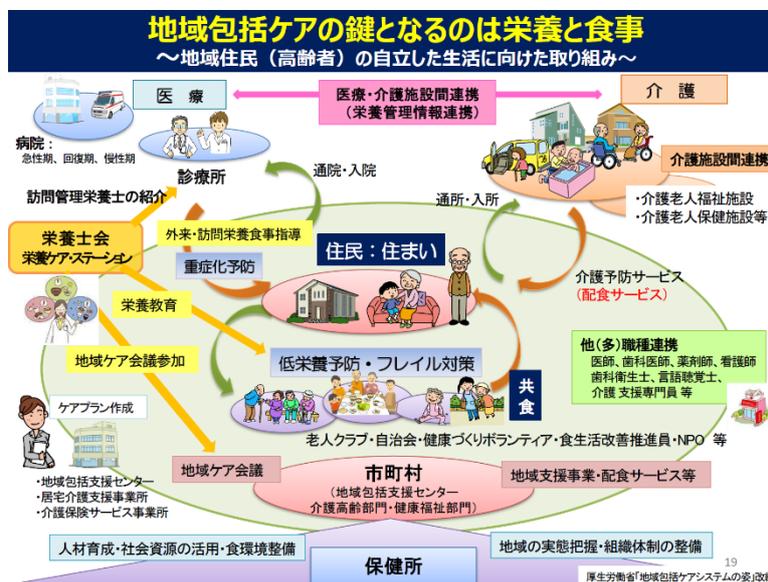


<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/444823.pdf>

2 低栄養予防および在宅医療（栄養）の推進（地域包括ケアの推進）

地域包括ケア推進に向けて管理栄養士が関わる施策

- ◎地域ケア会議への参画
- ◎診療報酬（外来栄養食事指導、在宅患者訪問栄養食事指導）
- ◎介護報酬（居宅＜在宅＞サービス）
- ◎地域支援事業（市区町村保健事業、介護予防事業への協力）
- ◎高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- ◎その他健康関連イベントなど



地域包括ケアシステムの推進における県と市町村栄養士の協働、兵庫県健康福祉部健康局健康増進課 諸岡 歩（一部改変）
<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/001450127.pdf>

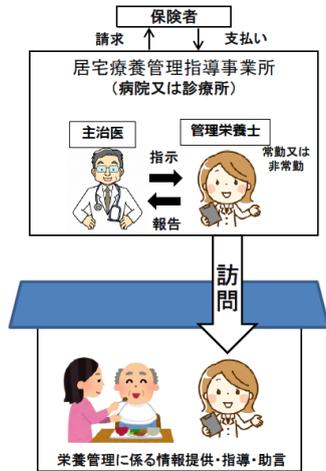
在宅ケアにおける管理栄養士の役割、日本在宅医療栄養管理学会理事長 前田佳代子
<https://www.mhlw.go.jp/content/10802000/001086107.pdf>

令和5年度栄養ケア活動支援整備事業報告書、東京都栄養士会（一部改変）

管理栄養士による居宅療養管理指導

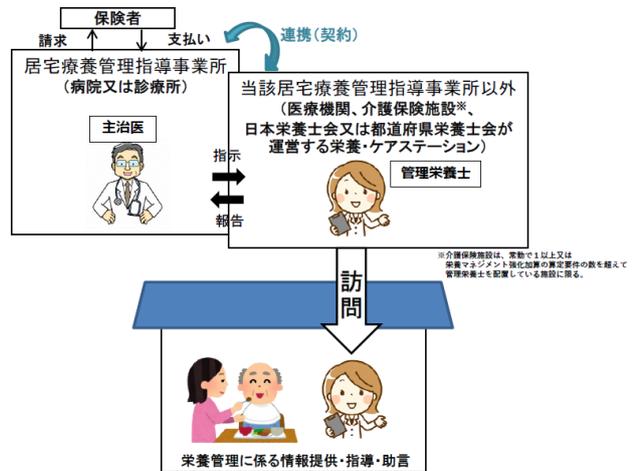
居宅療養管理指導費(Ⅰ) (443~544単位)

〔居宅療養管理指導事業所の管理栄養士が行う場合〕



居宅療養管理指導費(Ⅱ) (423~524単位)

〔当該居宅療養管理指導事業所以外の管理栄養士が行う場合〕



なお、他の指定居宅療養管理指導事業所との連携により管理栄養士を確保し、居宅療養管理指導を実施する場合、主治医が認めた場合は、管理栄養士が所属する居宅療養管理指導事業所が算定することも可能

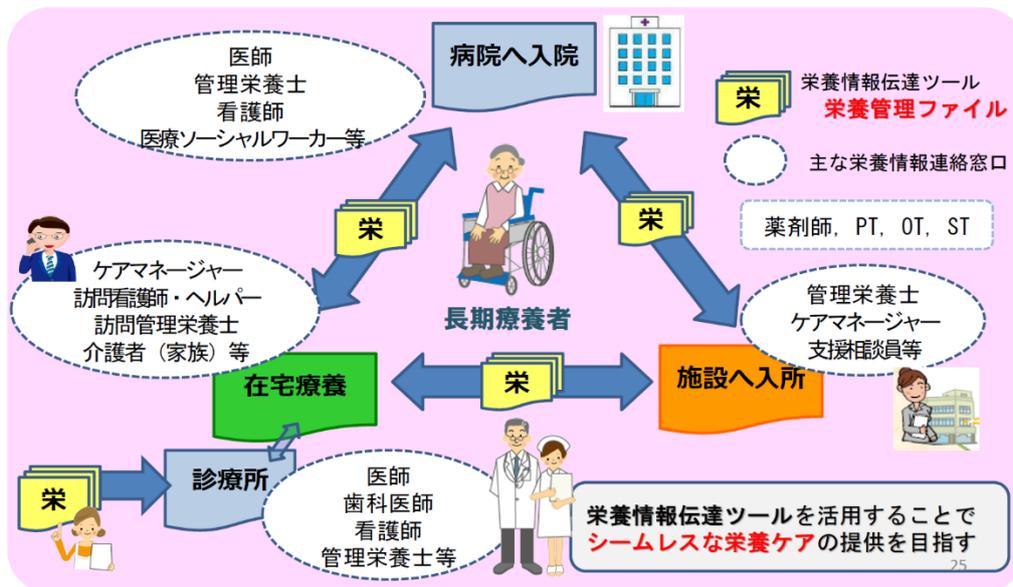
18

在宅ケアにおける管理栄養士の役割、日本在宅医療栄養管理学会理事長 前田佳代子

<https://www.mhlw.go.jp/content/10802000/001086107.pdf>

地域包括ケアの視点による取組事例(兵庫県伊丹健康福祉事務所の事例 H25~)

「多職種が連携した栄養・食生活支援を目指して 栄養管理連携パスの構築」

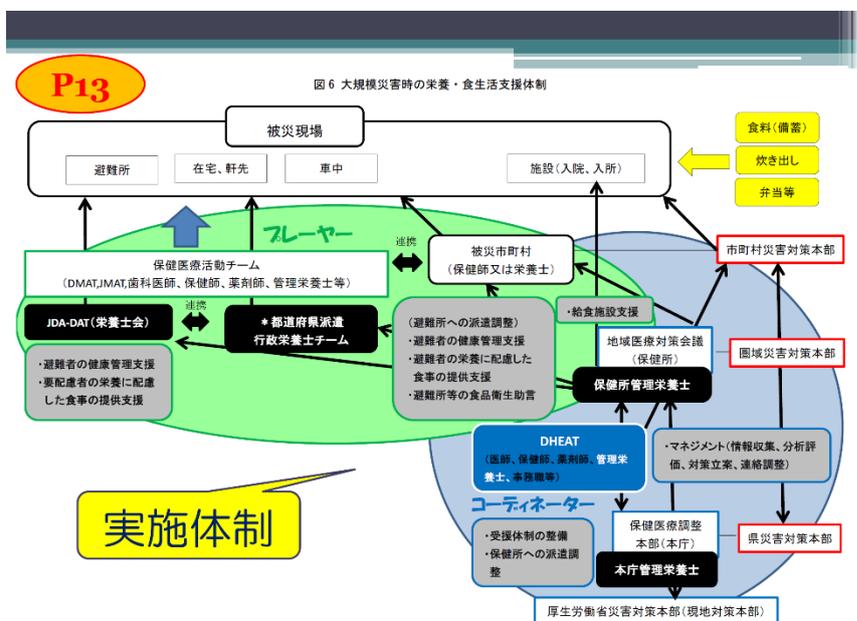
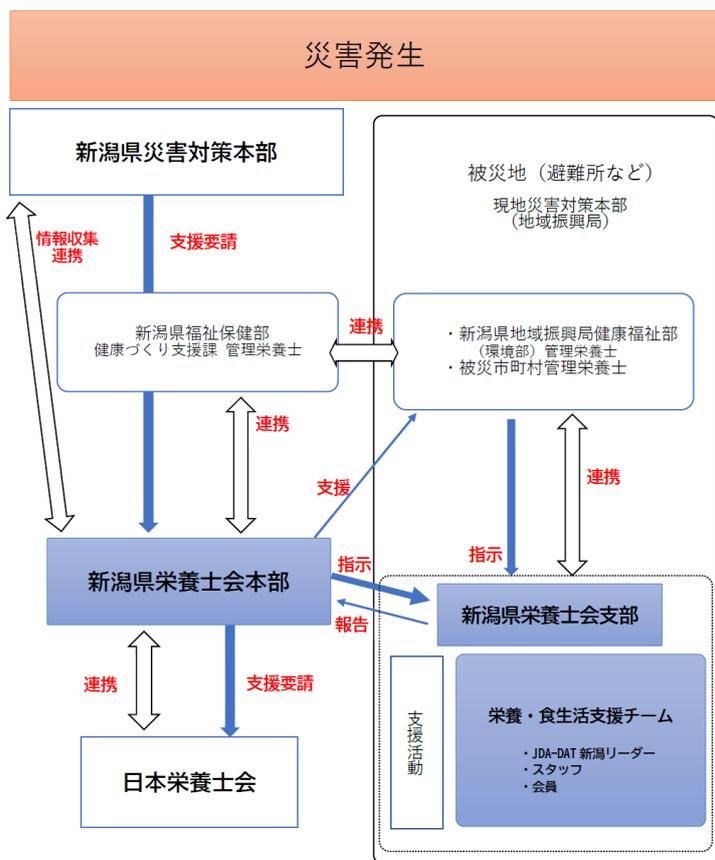


地域包括ケアシステムの推進における県と市町村栄養士の協働、兵庫県健康福祉部健康局健康増進課 諸岡 歩

<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/001450127.pdf>

3 大規模災害時の栄養・食生活支援体制の整備

別添2 災害時における連携図



32

大規模災害時の栄養・食生活支援ガイドライン、日本公衆衛生協会

<http://www.hc-kanri.jp/03/>

旅費等に関する規程変更について

旅費等に関する規程新（案）旧対照表

新（案）	旧	備考欄	第2回理事会結果
第7条 (2) 前号で高速道路を利用した場合の <u>高速道路料金は、出発地点より片道 50 km以上の場合に限る。</u>	第7条 (2) 前号で高速道路を利用した場合には <u>高速道路料金の実費額を支給する</u>	(変更)	承認
第7条 (3) バス、高速バスは、 <u>その実費額を支給する。</u> (4) <u>タクシーを利用した場合は、バスなどの公共交通機関の料金に換算し支給する。</u>	第7条 (3) バス、高速バス <u>及びタクシーを利用した場合には、その実費額を支給する。</u>	(変更) (新設)	(3) 承認 (4) <u>継続審議</u>
(5) <u>駐車場料金の支給は上限 700 円とする。</u>		(新設)	承認
7条2 タクシーの利用は出張その他やむを得ない事情がある場合に限り、その料金の支給にあたっては領収書の提出を必要とする。 <u>3 やむを得ない事情とは、例えば交通機関が動いていない時間に会議が開催されるなどをいう。</u>	7条2 タクシーの利用は出張その他やむを得ない事情がある場合に限り、その料金の支給にあたっては領収書の提出を必要とする。	(新設)	承認
第8条 (1) 旅客運賃は、ジェットフォイル及びフェリー（佐渡汽船の場合は2等）の運賃を支給する。 -(2) 基本片道ジェットフォイルまたは往復カーフェリーの利用が望ましく、ジェットフォイルの運賃は片道に限り支給する。 -(3) (2) 自家用車のカーフェリー航送費用は支給しない。	第8条 (1) 旅客運賃は、ジェットフォイル及びフェリー（佐渡汽船の場合は2等）の運賃を支給する。	(新設) (新設)	<u>(2) 継続審議</u>

他) *会議等で対面のほう（会場費+旅費）が日当（500 円）より安価の場合もあるため、経費節減のため安価な方を採択する等、経費削減のご協力をお願いしたい。

* 高速道路を使用した場合、料金レシートがある場合は写真を事務局へ送り、ETC の場合は旅費申請書にて申告。

特定費用準備資金 「実践現場における実践的研究の促進と成果の発信に向けての支援事業」(案)

1. 事業目的

実践的研究の成果を現場に応用・活用させるとともに、実践現場での実践的研究(実際の現場における課題解決や改善を目的とした行動や試み)の促進と成果の発信を行うための知識とスキルの向上を図る。

2. 事業内容

- 1) **講義** (Zoom) 5回：1回90分×5回 *オンデマンド配信も実施
- 2) **演習** (対面) 1回：1回180分
基本的な統計解析の実践と結果の読み取り方など
- 3) **グループワーク<GW>** (対面) 1回：1回120分
参加者が、今後実践したい研究の枠組み等について発表・質問対応

3. 事業の流れ

企画・募集	1) 講義	2) 演習	3) GW	成果発表	事業評価・報告書作成
4月	5～7月 (Zoom5回)	8月 (対面1回)	9～10月 (対面1回)	(栄養士大会等)	12月

4. 対象者

新潟県栄養士会会員 20人
 ・現場における課題解決や改善を目的とした調査や実践データのまとめ方等に興味のある方
 ・1) から 3) に参加できる方、移動可能なノート PC を有している方

5. 参加費

1回500円 (500×7回=3,500円) *参加費収入：500×7回×20人=70,000円

6. 企画、講師兼ファシリテータ

5人(1～2年ごとに交代：半舷上陸的に交代)
 *2026-2027年度：北林、村山、斎藤、県立大教員1、医療福祉大教員1

7. 予算

総額：寄付金1,267,707円+新潟食生活学会残金70,006円=1,337,713円
 年額：7回コース合計：**30万** *うち、7万円は参加費収入で補う⇒実支出/年=23万
 (内訳)・謝金(講師兼ファシリテータ)：一人3万×5人=**15万**
 *企画、1)～3)、成果発表、事業評価・報告書作成、交通費なども含めた謝金
 ・会議費：**4万** 10回×500円×7人(講師5人+事務局2人)
 ・会場費：**6万** GW1回+演習1回(医療福祉大借用)≒3万、
 栄養士大会(ユニゾン大会議室)≒3万
 ・講義内容のオンデマンド配信：**2万** 復習用、欠席者用 5回分、各2W配信
 ・雑費(表彰状、印刷費等)：**3万**

8. 事業実施予定年数

現在の予定期間は、総額1,337,713円/年額230,000円≒5年
 (ただし、年度により、参加費やその他経費が変更になる可能性があるため、毎年の経費の残額を見て、実施年数を変更する。)

特定費用準備資金計画について

特定費用準備資金の名称 (貸借対照表科目名)	将来の特定の活動の名称	当該活動の内容	計画期間 (事業年度)	当該活動の実施予定期間	積み立て限度額の算定方法	積み立てに際しての留意事項
[特費]実践的 学術研究	実践現場における栄養学研究の促進と 成果の発信に向けての支援 事業	栄養学研究の成果を実践 現場に応用・活用させると ともに、実践現場での実践 的研究(実際の現場における 課題解決や改善を目的とし た行動や試み)の促進と成果 の発信を行うための知識と スキル向上支援事業とし て、以下の内容を行う。 1) 講義 (Zoom) 2) 演習 (対面) 3) グループワー (対面) 4) 成果発表	5 年間	2026 年度 ～2030 年度	(支出：年間) ・謝金 (講師兼ファシリテータ) 5 人分：150,000 円 ・会議費：40,000 円 ・会場費：60,000 円 ・講義内容のオンデマンド配信：20,000 円 ・雑費 (表彰状、印刷費等)：30,000 円 支出合計：300,000 円 (収入：年間) ・参加費：70,000 収入合計： 70,000 円 支出合計-収入合計：230,000 円 (予定期間 5 年間の合計) 230,000 円×5 年間= 1,150,000 円 *特定費用準備資金：総額 1,337,713 円	2026 年度 230,000 円 2027 年度 230,000 円 2028 年度 230,000 円 2029 年度 230,000 円 2030 年度 230,000 円 *予定では 180,000 程度残る。 最終的な残額をみて、可能な ら 2031 年度も実施する。

新潟県栄養士会 勤労者支援・地域活動事業部 統合について(案)

2025.9.20 地域活動事業部 山川琴栄

【経緯】2024年度より日本栄養士会における事業部は政策・職域推進事業部となり、勤労者支援・地域活動は統合し、名称を「フリーランス・栄養関連企業等」と変更された。

日栄の統合に関する事前説明会を機に新潟県栄養士会2事業部は、統合について検討を進めた。2023年10月職域事業部に係る打ち合わせ会議において(出席者：前会長、前副会長、前専務理事、前事務局長、勤労者支援事業部長、地域活動事業部長)統合についての意見交換を行った。会議の結論として2024年度早急に統合することは見送り、2026年度統合するか否か、会員の理解を得ながら再度検討を進めることとした。

2024年度より2事業部は会員向けアンケートを実施しながら、2事業部各研修会、栄養士大会分科会、役員会等で検討を進め、その結果、勤労者支援・地域活動会員より統合を目指すことについて同意を得ることができた。

【現在の決定事項】2026年度新潟県栄養士会総会より、勤労者支援事業部・地域活動事業部は統合し、職域事業部の名称は「フリーランス・栄養関連企業等」とする。(2025年8月21日第1回勤労者支援・地域活動事業部統合検討会における決定事項)

【今後の検討】

- ・新名称が長い場合、名称の通称・略称が必要。
- ・役員構成
- ・事業部運営 研修会等

第2回勤労者支援・地域活動事業部統合検討会は10月下旬実施予定

【新潟県栄養士会における統合までのスケジュール】

2025年度		職域統合について検討会実施 2~3回予定
2025年 10月9日 10月18日	常任理事会 理事会	職域統合について提案、決議 ※本日
2026年 2月26日 3月7日	常任理事会 理事会	新潟県栄養士会定款施行細則案(一部変更)提案、決議
6月13日	定時総会	理事会は役員立候補者を定時総会に提案し、選挙により選任決議 ※他事業部と同様

●ホームページについて

【報告】ホームページ委員会について ※【議事録】参照

第1回 ホームページ委員会 2025年6月25日実施

出席者：ホームページ委員、広報・情報部役員、事務局長、専務理事、事務局稲葉氏

内容：ホームページ委員の作業について、県栄ホームページについて、Instagramの活用について(検討)

※ホームページ委員会後連絡網整備のため LINE オープンチャットの運用を開始

メンバー：HP委員17名+広報・情報部役員5名+本部3計25名へ登録案内→2025年9月13日現在、登録者数21名

・2026年1月第2回ホームページ委員会の開催の予定

内容：ホームページ委員の作業について、県栄ホームページについて、委員引継ぎの徹底

●機関誌「栄養新潟」について

○2026年58号について(案)(2025年8月25日広報・情報部役員会にて検討)

【方針】

・発刊にかかる印刷費および郵送費の削減を図るため、掲載内容の精選によるページ数の削減を中心に、郵送費の低減に向けた取り組みを進めることとした。

・総会資料と合併号として2026年5月頃発刊の予定

【具体的な取り組み】

項目	内容	補足・理由
① 機関誌「支部・事業部だより」の掲載見直し	「支部だより」「職域事業部だより」は、県栄ホームページ「活動紹介」への誘導のみとし、機関誌への寄稿は行わない	ホームページ委員による報告が徹底されており、実行可能。
② 機関誌「新人紹介」の掲載取りやめ	年間4名程度の新人紹介を機関誌では掲載しない	若年層の冊子離れと個人情報保護の観点から。必要性がある場合は「会員専用ページ」への掲載を検討 ※理事会検討事項
③ 機関誌の今後の方向性の検討	今号での全面的なデジタル化は見送り、段階的な移行を検討	会員の意見を踏まえながら進める。「栄養新潟アンケート」※1を実施 ～2025.12.31

※1○2025年57号 アンケート実施について

【目的】会員の機関誌に対するニーズを把握し今後の発刊の参考にするために実施

【方法】Googleフォームによるアンケート「新潟県栄養士会

アンケートフォーム：<https://forms.gle/wJcvjPZt86qq6zhp8>

9/26に内容決定 現在は【案】になっている

【対象】新潟県栄養士会 会員

【周知の手段】一斉メール、県栄ホームページ「おしらせ」に掲載

【回答期間】～2025年12月31日

【アンケート回答結果の報告】理事会

理事へのお願い 各支部・事業部会員や周囲の会員にアンケート周知の協力をお願いしたい。

【2026年度58号の構成(案)】 *総会資料含め最大95ページ以内

内容	ページ数	執筆者・担当
表紙		毎年支部輪番制 2025年柏崎 →2026年〇〇支部
目次		
1.会長あいさつ	A4 1P	斎藤会長
2.総会資料		
3.特集 80周年記念事業について	全体で A4 3P ▶5P	・斎藤会長 ・事務局
4.トピックス 案2つ ※検討事項	案1.表彰紹介 案2.認定栄養ケア・ステーションのPR	2.各理事より、情報提供をお願いしたい
5.業務執行部活動紹介	全体で A4 5P *1/2Pずつ、栄養CS部は1P	各業務執行部部長
6.支部・職域事業部活動紹介	支部・職域事業部活動紹介 HPのURL・QRコード一覧表 *追加案 地域栄養ケア担当10支部	・10支部長
7.賛助会員PRコーナー	賛助会員	
8.本部だより		事務局
裏表紙	・事務局からのお知らせ ・あとがき	事務局 広報・情報部

その他

- 県栄ホームページリニューアル委員会について 進捗状況の報告は次回へ

事務局收受印	会議 議事録						
	会長	専務	事務局長		事務局		
回覧							
支部・職域事業部名	ホームページ委員会						
会議名称	第1回ホームページ委員会						
開催日時(西暦)	2025年6月25日(火)19時～20時30分			開催場所	zoomを用いたオンライン会議		
出席者氏名	村上支部 新潟市支部 佐渡支部 費×)	竹内 佳乃子 春川 佳代子 計良 美希(旅 費×)	公衆衛生 学校健康 勤労者支援 地域活動 医療 福祉	菅原 咲 渡邊 朋子 渡辺 絵里子 阿部 安南 新津 百子 吉沢 美咲	咲 朋子 絵里子 安南 百子 美咲	広報・情報部 ×)	山川 琴栄 伊藤 涼子 山岸 美恵子 内田悠香(旅費 丸山 朝美 石月 公美子 山田 祥子 稲葉 有紗 (旅費×)
欠席者氏名				教育研究 鷺頭 哲男	広報・情報部 統括 村山稔子		
作成者氏名	広報・情報部 伊藤涼子			提出日 (西暦)	2025年7月4日		
旅費申請書【様式R】	いずれかに✓を入れてください 有りの場合はこの議事録と一緒にメールに添付し提出してください					(<input checked="" type="checkbox"/>) 有り	(<input type="checkbox"/>) 無し
経費申請書【様式E】 (会場費, その他)	いずれかに✓を入れてください 有りの場合はこの議事録と一緒にメールに添付し提出してください 領収書等は別途郵送してください。					(<input type="checkbox"/>) 有り	(<input checked="" type="checkbox"/>) 無し
次第 <ol style="list-style-type: none"> ホームページ委員の作業について 新潟県栄養士会ホームページについて その他 							
会議の経過の概要および結果 <ol style="list-style-type: none"> ホームページ委員の作業について <ol style="list-style-type: none"> ①昨年度作業をしての感想 <p>○部長(山川)から事前アンケート結果についての説明がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 21名中HP役員以外や役員変更による作業未実施を除きおおむね順調作業はできていた。(不都合があったについてはシステムの障害によるものもあると思われる。) 要望:報告書を送りましたがアップされていなく不安だった。「受け取りました」などの返信があると良いと思う。 →稲葉HP事務局より 栄養士会に来るメールが100～200通/日あるなかでチェックを行っており返信はできない。山川部長よりグループLINEのオープンチャットを活用し、メール以外に報告書など送りました等おしらせのやり取りができるとよいのではないか。賛成18名だったため今後はオープンチャットを作成し事務局とホームページ委員の間で情報の共有ができるように行っていく。 ○稲葉HP事務局より新潟県栄養士会ホームページのシステムの現状について説明がなされた。 送ってもらった情報をすべてあげたが昨年秋にデータが消えてしまったものがあり、復旧を試みるもバックアップの不調の為アップしても消えるを繰り返している。今年の5月末に業者よりバックアップの修理が終わったが、情報が消えるという状況は変わらず、ホームページを大々的に変更するのは難しい。 山川部長より現状を踏まえ、今後は今年度の計画を先にアップしていく。去年度までの報告書等については稲葉HP事務局より対応していただく。 ②現在HPで情報の更新が必要と思われる項目や変更案について <p>○部長(山川)から事前アンケート結果についての説明がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食のお役立ち情報については作成者・作成年月日などを記入するようにマニュアル化が必要と思われる。 賛助会員様は2021で更新が止まっているとのことですが現在2025に更新されていますので、お知らせします。 <p>○稲葉HP事務局より研修会・学会情報はアンケートの結果をもとに去年の分ものこしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会の内容を充実してもらいたいについては後ほど意見をうかがう。 							

○山田専務理事より現在のホームページは使いこなしていくと見やすいと思いました。又一般の高齢者の方がスマートフォンなどで入ったときでも見やすいといいと思いました。

③HPに新たに加えるとよい項目や内容、提案について

○部長(山川)よりすべての項目をあたらしいHPに反映させるのは難しいと思いますが、より多くの方の気づきが新しいHPや今のHP現状に活用していますのでたくさんのご意見いただきまして参考になりました。ありがとうございました。

・スマホで見た場合HP選択肢は下の方にあるが、右上にハンバーガーメニュー(3本線の選択表示)があるほうがみやすい。(魚沼 大平)

○部長(山川)より会員外の方に向けては見やすく、最新の情報を載せるようにし、会員専用ページを充実(資料のダウンロード等)会員のメリットになると思われる。実際にはHPのパトロール(巡視等)や取り決めなどが必要。

○HP事務局 稲葉より 就職の斡旋については資格が必要になるので事務局、栄養士会としてはできない。情報としては県栄のHPの求人欄で出している。

○お問い合わせフォームの作成やレシピはだれが掲載するのかについては新しいHPを作成する際皆様の意見を参考に組み込んでいく。

④県栄HPの改修にあたり、参考になる情報があれば教えてください。

・現状役立っている機能や絶対欲しい機能の情報

・他県のHPや各市町村のHP

⑤HP委員活動・新潟県栄養士会HPについての感想

○部長(山川)よりinstagramの活用について現在情報としてはメールかホームページを見てもらう状況

InstagramはHP事務局稲葉さんより更新などお願いしている。

・HPよりInstagramの方がいろんな情報を得るのは流行、広報に力を入れるのであればInstagramを活用すると良いのではないかと。研修会の内容をメール配信してもアドレスが変わっていて情報が届かないことがあり支部の担当者がInstagramを運営できるようになると、呼びかけをしやすくより広く多くの人を集めやすくなるのではないかと。(佐渡 計良)

・Instagramを使ったことがないので、検討が付かない。職場でもInstagramから情報をとったという話は聞かない。(医療 新津)

・職場でもやっているの身近に感じている。調べるときもInstagramを使うことがあるが、定期的に情報が更新されているか誰がおこなうのか見ていく必要はある。新潟市のInstagramのフォロワーも増えたらと思っている。(新潟市 春川)

・Instagramから情報をとれれば良いと思うがやり方がわからず使用していない。(広報・情報部 山岸)

Instagramを見ている14名 アップしている9名

○HP事務局稲葉より Instagramは載せてもいいものと悪いものがあり、ホームページも壊れているのでアップしていなかったがルールを決めてもらえればアップ可能。

・プライベートでは使用しているが、フォローなどはしていない。誰をターゲットにしているかになると思います。料理のレシピを毎日載せるというのはあっていると思いますが栄養士になりたい人が、Instagramは見ないかなと思います。権利関係が難しいので運営する方はプレッシャーだと思います。広く一般の方にとりであればInstagramはいいと思います。(学校健康教育 渡辺)

・Instagramをやっていないので、やるとなったときにできるかできないか含めてわからないんですが、Instagramで調べものをしないのですが活動をPRするのであればInstagramでたくさんの人にみてもらえると思います。(公衆衛生 菅原)

Instagramの使い方精査しなければならないというのが課題であり、広報はホームページを充実させ最新情報を載せていく等県栄栄養士会と相談しながらやっていきたいと思っています。

⑥その他・連絡等

・いろいろなお意見ありがとうございました。私はInstagramはやっていませんがリニューアルを行うときに重たい情報が難しくなるのかと思いますので写真で活動の紹介などInstagramでできればいいのかと思います。ホームページ委員会ができてから役員としておりますが、皆さんの意見を聞いていて、いろんな人にやってもらわないと、ホームページを見ていただけないのかなとも思いました。いろいろ人を入れ替えながら、いろいろな意見を聞きながら、いい物を作るというよりは使い易い物を残していくことを第一にそこからいろいろ派生していくものをくっつけていくようにしていけたらと思います。まずはいらないところの整理から。食のお役立ち情報については毎回意見をいただきますので、やれるところからできればと思います。ご協力よろしくお願いいたします。(長岡 津軽)

・皆様の話を聞いていて、使いやすい物を少しずつで良いと思います。対象者をはっきりさせてやっていくとよいと思いました。(広報・情報部 丸山)

○部長(山川)より今年度の流れについて
支部・職域の活動の計画については適宜県栄に送る。各事業の終了の際は報告書を提出する。
そのほか情報についての相談はラインのオープンチャットで連絡できるようにしていく。

○石月事務局長より
ホームページを改めて見させてもらいましたが、非常に見やすく今のものを整理して行けばよいのではと思います。又みていなかった方をどのようにみてもらえるようにするかというも活用していただけたらと思います。

【配布資料】

2025年度 第1回HP委員会 アンケート結果

2026年度 新潟県栄養会研修（案）

番号	事業部名	候補順	研修名	研修対象者	開催月（案）	内容（案）	講師（案）	方法（案）	開催方法	担当者氏名	
1	学校健康教育事業部	第一候補	生涯教育	会員・非会員	8月	発達障害等の子どもの食の困難と発達支援	日本大学准教授 田部絢子先生（依頼はこれからです）	講演	オンデマンド配信	丸山朝美	
2	公衆衛生事業部	第一候補	生涯教育・職域事業部	会員・非会員	9月	避難所等における要配慮者対策の充実を目指して管理栄養士・栄養士として備えておくべき知識と対応（仮題）	濱田真里氏（内閣府政策統括官（防災担当）付き参事官（地域防災力強化担当）付主査）、JDA-DATリーダー	講演、グループワーク	対面又はオンデマンド配信	土田直美	
3	研究・教育事業部	第一候補	生涯教育・職域事業部	会員・非会員	6月	ChatGTPなどのAI使用における、栄養管理や栄養指導などへの使用可能性と留意事項について	田村龍一先生 東洋大学フードデータサイエンス学科（依頼はこれからです）	講演	オンデマンド配信	堀川千嘉	
	研究・教育事業部	第二候補	生涯教育・職域事業部	会員・非会員	6月	こころの不調と食生活のエビデンス	功刀 浩 先生 帝京大学医学部精神神経科学講座（依頼はこれからです）	講演	オンデマンド配信	堀川千嘉	
	研究・教育事業部	第三候補	生涯教育・職域事業部	会員・非会員	6月	食事摂取基準2025 または健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023の変更点、活用について	策定に関わった委員の先生（依頼はこれからです）	講演	オンデマンド配信	堀川千嘉	
4	福祉事業部	第1候補	生涯教育・職域事業部	会員・非会員	7月or10月	嚥下と窒息に関する知識と活用	大原総合病院 鹿野真人先生（未依頼）	講演	オンデマンド配信	斉藤幸子	
	福祉事業部	第2候補	生涯教育・職域事業部	会員・非会員	7月or10月	終末期の栄養管理について	講師はこれから選定予定	講演	オンデマンド配信	斉藤幸子	
5	地域活動事業部	第1候補	生涯教育	会員・非会員	いつでも	『いわゆる健康食品等の種類と正しい利用に向けて留意すべきこと』	講師：福島大学農学部食農学類 准教授 種村 菜奈枝氏	講演	オンデマンド配信	地域活動 山川琴栄	【お知らせ】一般参加も！大規模3,000名参加者募集中！「リスクコミュニケーションセミナー」 お知らせ 公益社団法人 日
	地域活動事業部	第2候補(他事業部が予定であればそちらを優先してください)	生涯教育	会員・非会員	いつでも	食事摂取基準2025	(講師：国立健康・栄養研究所 所長 瀧本 秀美氏)	講演	オンデマンド配信	地域活動 山川琴栄	日本人の新食事摂取基準2025年版 策定検討委員『生活習慣病及び生活機能維持・向上に係る疾患等とエネルギー・栄養素との関連』の詳細を教示いただきたい。 (案)の講師であれば、特に今回追加された『骨粗しょう症』についてもお話お聞きしたい。
6	地域活動事業部			会員・非会員	いつでも	健康づくり県民運動「健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト」/健康にいがたについて	県担当者様	講演	オンデマンド配信または対面	地域活動 山川琴栄	※無料配信をお願いしたい。栄養士・管理栄養士に期待される役割を共有する
7	地域活動事業部	第1候補	事業部研修会	未定	7月11日	事例発表・情報交換会	事例発表者：地域活動・勤労者支援事業部会員 (予定) 本田真美氏：本田式認知特性研究所医学博士	事例発表、グループワーク	対面	地域活動 山川琴栄	
8	医療事業部	第1候補	生涯教育	会員・非会員	11月	認知特性～認知特性を考慮した支援の在り方とコミュニケーション能力～	(予定) 本田真美氏：本田式認知特性研究所医学博士	講演	オンデマンド配信	小林 昌子	
	医療事業部	第2候補	生涯教育	会員・非会員	11月	AIを活用した業務の効率化	(未定)	講演	オンデマンド配信	小林 昌子	
9	医療事業部	第1候補	事業部研修会	会員・非会員	7月	2026年度診療報酬改定について・シンポジウム、ディスカッション	(予定) 医療事業部事業推進委員	講演	Live配信	小林 昌子	
10	研修部		栄養士大会	会員・非会員	11月ころ?	未定				村山稔子	9/30までに検討できていませんでした。
11											

株式会社バイオテックジャパン

会社紹介

会社概要

設立	1994年
主要事業	植物性乳酸菌の技術開発 低たんぱく食品の開発・製造 機能性米飯の開発・製造
主要取引先	
医療業界	キッセイ薬品工業様
食品業界	ブルボン様、ニュートリー様、 木徳神糧様 etc



沿革

- 1994年 設立
- 2001年 低たんぱく食品事業参入
- 2011年 View工場竣工
- 2014年 FSSC22000取得
第2発酵研究所開設
出荷センター竣工
- 2015年 フィリピン現地法人設立
- 2016年 JICA事業 採択（国際協力機構）
- 2017年 はばたく中小企業認定（経済産業省）



主な製品

- 低タンパク米
- 低タンパクパン
- 低糖質米飯
- 緊急食（災害用備蓄食）
- 乳化剤
- 抗カビ発酵液
- 製パン改良材



低たんぱく食品



低糖質食品



やわらか食品



当社の乳酸菌受託・サービス

自社素材から乳酸菌を見つけたい



乳酸菌分離サービス

乳酸菌の属種を調べたい



乳酸菌同定サービス

自社乳酸菌を長期保管したい



菌株保管サービス

自社乳酸菌をサプリにしたい



培養・凍結乾燥受託

食品用の乳酸菌を探している



液体・粉末スターター

発酵食品を開発したい



開発受託サービス

乳酸菌スターター



▲ 液体スターター

▲ 凍結乾燥粉末スターター

2025 年度 関東甲信越地区栄養士会長・行政合同会議 次第

	日	時	内容	会場
1 日目	8 月 27 日 (水)	14:00~17:30	合同会議	新潟大学 駅南キャンパス ときめいと 講義室 A
		18:30~20:30	情報交換会	アートホテル新潟駅前 4 階 佐渡の間
2 日目	8 月 28 日 (木)	9:30~12:00	合同会議	NINNO3 ルーム C

■ 1 日目 14:00~17:30

1	開会	14:00~
2	挨拶 ・公益社団法人 日本栄養士会 常任理事 地域連携事業部長 西村一弘 ・公益社団法人 新潟県栄養士会 会長 斎藤トシ子 ・新潟県福祉保健部 健康づくり支援課 課長 相馬幸恵	14:05~
3	議事	14:20~
	(1) 2025 年度日本栄養士会統一議題について	
	① 会員増対策について	
	② 在宅医療・介護連携ネットワーク構築のための同職種連携への取組について	
	③ 災害対策事業における人材育成について	
	【休憩】	15:50~
	(2) 関東甲信越地区の議題について ① 栄養行政担当者との連携について ・茨城県_保健医療部健康推進課 (代理:会長 石川祐一) ・栃木県_保健福祉部 健康増進課 副主幹 池内寛子 ・群馬県_健康長寿社会づくり推進課 健康増進専門官 齊藤朋子 ・山梨県_福祉保健部 健康増進課 (代理:会長 平井美樹夫) ・長野県_健康福祉部健康増進課 (代理:会長 馬島園子) ・新潟県_福祉保健部健康づくり支援課 健康立県推進班 技師 高橋千裕 ② 各県の課題と意見交換	16:05~
4	閉会の挨拶 公益社団法人 新潟県栄養士会 副会長 村山稔子	17:30

2025年度 関東甲信越地区栄養士会長・連盟合同会議 次第

■2日目 9:30~12:00

1	議事（前日分）	9:30～
	(2) 関東甲信越地区の議題について ②各県の課題と意見交換	
2	開会	10:00
3	挨拶 ・日本栄養士連盟 幹事長 浜岡一美 ・日本栄養士連盟 新潟県支部 支部長 折居千恵子	10:05～
4	議事	10:10～
	(1) 日本栄養士連盟統一議題	
	① 会員増対策について	
	② 会員管理システム活用について	
	【休憩】	10:50～
	(2) 各支部課題について	11:00～
	(3) 国会議員・県会議員を招いたミニ集会の実施について	11:30～
5	閉会の挨拶 ・日本栄養士連盟 長野県支部 支部長 園原規子	11:55～
	(全体 閉会)	12:00

9/2メールで依頼 (9/7まで) ⇒10支部長+3名から返信

対象者：各支部長 (10支部)：治田、伊藤、北林、村山、鶴川、佐々木、金子、内田、
内山、中俣

1.支部長の選出方法

*複数回答あり

順番	6	新発田、十日町、魚沼、佐渡、上越、長岡
話し合い	4	新潟、村上、柏崎、三条、上越
その他	1	村上 (立候補)

順番

新発田	職域ごとに順番が決まっている。役員会で次の職域を確認し同じ職域の前役員が会員へ声掛けをする。
十日町	職域毎に支部長含む役員の担当を順に回し、前役員が職域内で声掛けする
魚沼	職域の順番に役目を回す、おおむね経験値年数を参考としている
佐渡	職域関係なく、会員歴の長さで決めている
上越 (内山)	福祉部会→健康教育部会→医療部会→行政部会
長岡	部会別の輪番と部内の話しあい 来年度より各事業部ごとに選出する輪番制にした。連絡員会議で承認あり。 医療よりスタート。

2.支部役員

①役員の種類と人数

	副支部長	会計	事務局	HP委員	職域	他	役員	保健所 オブ ザー	幹事	食育	連絡員	地域 ケア	部会 ごと
新潟市	1	1	1	1		6							
新発田市	1	1		1	4								
村上	1			1			2	1					
十日町	1	1	1	1			1						
魚沼	(1)				6								
柏崎	1		1	1									
佐渡	1	1		1					1				
三条	1	1	1	1						1			
長岡	1		1	1							7	1	
上越	1		1		5								

②選出方法

*複数回答あり

順番	5	新潟、十日町、魚沼、佐渡、上越
話し合い	3	村上、三条、上越
その他	4	新潟、新発田、柏崎、長岡

順番

新潟	医療は医療事業部と新潟市支部役員とで重ならないよう順番表を作成
十日町	職域毎に支部長含む役員の担当を順に回し、前役員が職域内で声掛けする
魚沼	職域順で廻している
佐渡	公衆衛生、福祉、医療、学校から各1名それぞれの職域で相談・選出し、役職については現任役員で相談後、本人の了承を得る
上越	支部長の部会とそれぞれが重ならないように組む

話し合い

上越	現任者が後任に当たりをつけて交渉するパターンが多い
----	---------------------------

その他

新潟	医療以外は役員自身が次の役員候補に声掛けをしている
新発田	前役員が候補になりそうな方に声をかける
柏崎	事業部から1名を選出し、担当は話し合いで決める
長岡	各事業部ごとに違う (輪番制・連絡員が探して依頼等)

3.支部長・役員選出について困っていること、課題、意見

新潟	医療と福祉のみ東・西として役員を2名選出（他の学校や行政は1名ずつ）しており、医療は順番表があるため支障ありませんが、福祉は役員自身が次の候補者を探さなければならないうえに、2名選出しなければならないことが負担だと福祉の役員より意見がありました。この機会に確認ですが、 福祉の役員は1名のみに変更してもよろしいのでしょうか？ 新潟市支部活動としては1人減っても問題ないと考えています。 また、このアンケート結果も共有していただくと助かります。他支部の状況を知ること、役員選出の負担感の軽減につなげたいと思います。
新発田	声掛けし、断られると次につなげることが難しい。順番を決めることができれば、もし出来ない時は次の方をお願いするなど調整できる。
村上	・HP委員は役員として必要でしょうか？当支部のHP委員は現状、支部事業に参加することもなく、公開資料の作成もするわけでもなく、ただ役員達が作った資料を事務局に送るだけの業務となっています。 ・村上支部も以前は職域で順番に支部長を回しておりましたが、無理やり支部長に就任されても嫌々やっている感が表れていましたし、積極的に支部事業を検討する姿勢もみられず、支部活動が停滞してしまうことが多々ありました。このような姿勢のまま支部長が地域に出て行き、第三者にも見られていたかと思うと、当人のみならず、栄養士全体の質が疑われてしまう恐れがあります。順番制は廃止して、やる気や熱意のある方に担っていただくのが重要だと思います。
十日町	会員減少により役員のなり手が減少している。断る会員も多く、職域によっては役員になる会員が固定されている状況。
魚沼	年々、人選は難しくなる一方だと感じている。これまでのように廻り順も益々、敬遠される傾向。 合理的な選出方法は思いつかないが、下記に当方の私見 ①支部長については職域順にこだわらず、県栄事務局と現任支部長が後任者を指名する ②指名された後任支部長が主体的に支部役員の体制と人数を思案し、指名する。（もちろん県栄と相談の上という前提で選出された役員に説明する） ③任期については現行「2年」となっているが、これについても協議が必要。 → 役員個々で意欲の差が大きく、タイプによっては「役員継続して尽力して欲しい人」と反して「もう退任していただいたほうが良い人」がある。「継続して欲しい人」については県栄からの「依頼書」みたいな形があると説明しやすいのではないか
柏崎	事業部によっては、会員数が少ないため役員の回数が多く回ってくる。支部長は支部役員の経験者から選出すること、限定することなく選出できるとよい。
上越	県栄からの支部長あてのメール（連絡）をBCCで副支部長と事務局にも同時に送信していただいたお陰で共通理解ができてとても助かりました。ほんの一手間の事なのですが、支部長→副支部長と事務局というメールの流れがなかなか実行できなくて（本務の仕事とこの役員の両立が大変で）副支部長と事務局も私からのメールを待たなくても今こんなことをやってるんだな、支部長お疲れ様です。何かお手伝いしますよ。と言う雰囲気です。チームワークができるようになりました） 困った点として、3役が2年間の任期で同時に総入れ替えとなるため、1年目は運営のイメージがつかめず、苦慮した。
長岡	話し合いで選出することにしていただいていた支部長は、とても探すことができずに、来年度から事業部で輪番とした。事業部内でも委員を輪番にしているところは医療事業部だけで、その他は連絡員が探して声をかける方式のため、選出の声がかかると「そんな仕事があるなら栄養士会をやめたい」と言われるということで、困っている。

⇒支部の判断でよろしいと思います。2人いるのは、昔は案内文が郵送（パソコンなく手書き）だったためのようなのです。今はパソコンもメールもあるので、みなおしてもよいかもしれません。2人にして、交替時期をずらしているというため、ということもあったかもしれません。

4.連絡体制

①支部内の連絡体制

支部の会員へ周知できる	5	村上、十日町、佐渡、上越、長岡
役員のみできる	5	新潟、新発田、魚沼、柏崎、三条
ない	0	

支部の会員へ周知できる

村上	メールまたは人伝いでの連絡
十日町	職域の役員毎に会員のメールアドレスを把握し、支部長→役員→会員の流れで伝達する体制。学校給食では情報共有システムがあるため、これを利用している。
佐渡	各役員からメールやFAXで発信、一部郵送あり
長岡	各事業部より連絡してもらっている。連絡方法は医療と公衆衛生は各施設の代表メールに送って施設内で共有。その他は個々に連絡
上越	メールで支部長→各部長→会員

役員のみできる

新潟	第1回の役員会開催時に職場名、住所、電話、FAX、メルアド、LINE情報を収
新発田	個人のLINEを使用
魚沼	個別宛でのメールに送信している。支部会員には各職域役員から支部長指示を伝達してもらっている。
柏崎	グループLINE
三条	メール・LINE

②困っていること、意見

新潟	時折、県栄養士会の理事会で支部内で周知してほしいと連絡がありますが、新潟市支部会員への周知方法がないので困ることがあります。ただ、支部の会員への周知は県栄の一斉メールがあれば問題ないと思います。
新発田	個人情報の関係で難しいようですが、 名簿 があると会員が誰なのか把握でき、研修会の参加状況によって催促したり、事例の発表者をお願いできる。
村上	以前は連絡網と名簿を作っていたので、どこに会員がいて、誰から連絡が来るのかが支部内で共有されていましたが、現在は 支部内のどこにいるのかさえわからない状態 なので、せっかく入会してもらっても何も接点がないまま退会してしまう方もいらっしゃいました。
十日町	昨年までは一斉メール配信による連絡体制だったが、会員の過半数にメールが届かない状況だったため連絡・周知が困難だった。今年度からは上記の方法で対応中で不具合はまだわからないが、定期的に会員へのメールアドレスの確認が必要と思われる。支部全体でのメールアドレスの把握（他職域の役員もアドレスを確認できる体制）に難を示す会員もいた為、現時点ではメールアドレスの管理については各職域の役員に任せている。また、少数ではあるがメールによる連絡ができない会員へは役員が声掛けや書面を届ける場合もある。
魚沼	支部会員全員の個人宛のメールアドレスを 教えていただけるとありがたい。昨今はLINEを活用している団体も増えてきており、個人情報についてあまり過度に警戒すると不便。少し柔軟にしたいところ
柏崎	県総会の委任状提出のお願いは、支部会員が把握できていないため連絡できない。 県栄からの一斉メール で依頼してほしい。
上越	県栄に届けているメールが違って届かない人 が常に数人いる
長岡	県栄より名簿は取り寄せて会員を把握するが、 登録の支部等が違っている方が多く 、連絡がきちんといたりいかなかったりあいまいになっている。新しく登録の方などの情報も来ないので、連絡を「知らなかった」ということもよくあり、「連絡が何もないので、栄養士会に入っているも何も情報がわからないのでやめようと思っていた」という話を聞いた。 (①で周知できるにチェックはしたが、完全に周知することはできない。)

⇒個人アドレス以外は、必要な会員情報はお知らせ可能です。しかし、住所、職場や、アドレスが変わっても、変更をしない方も多くなっています。

学校教育では、学校ごとのアドレスで連絡をとれるそうです（県栄の一斉メールのようなもの、但し、栄養士会会員か判断なく、すべての学校へ流しているとのこと）

一斉メールを活用していただくのはよいのですが、週に2回までと日栄より言われております。委任状依頼の際は、そのためお願いをしました。また、全国の使用状況により、配信時間もこちらでは決められないという状態であることをご承知おきください。

以上のことから、個人宛では怪しい面が多いようですので、支部で、職域ごとに、職場(医療なら病院、福祉なら施設)のアドレスでの連絡体制ではいかがでしょうか。

会員に関係なくすべての施設へ連絡することで、栄養士会に入会していない方へも知らせが届き、入会につながるかもしれない?かもしれません。

しかし、施設宛てでは、会員へ届かない可能性も考えられますので、個人で登録している職場のアドレスでの名簿作成から始めたほうがよさそうです。

支部ごとに、職域ごとのアドレス作成をお願いいたします。

5. 課題・ご意見（役員選出・連絡体制以外）

新潟	<p>支部の区分けについてですが、新潟市支部の中に8区もある新潟市だけではなく、五泉市と阿賀町が含まれていることを知った時に、広域な区分けだと思いました。自身の支部活動として支障はありませんが、しかし、支部研修会等を企画しても、どうしても新潟市では…という話題になってしまう可能性もあり、五泉・阿賀地域の方々への配慮も必要だと思いました。</p> <p>ただ、以前は新潟市支部役員に職域ではなく五泉・阿賀地区代表としての役員枠がありましたが、五泉・阿賀地域の方々役員が順番が早く回ってくるので五泉・阿賀としての役員枠をなくす提案がされ、承認されて今はほぼ新潟市の会員が役員になっているという状況ということも聞きました。</p> <p>したがって、この件については結論がほしいわけではないため、検討事項でも課題でもないのですが、単なる疑問と思いを述べさせていただきました。</p> <p>同じく支部の区分けについて、西蒲区の病院と福祉施設で、同じ法人で同じ地域に施設があるのですが、病院は新潟市支部、福祉施設は三条支部と別れているのはなぜか。というご意見を頂いたことがありました。もし統一できるようにであれば、ご検討よろしくお願い致します。（新潟西蒲メディカルセンター病院からの質問でした）</p>
新発田	<p>他の支部活動の報告をみていると、様々な事業を行っているので、行うことになった経緯など教えていただき参考にしたい。</p>
村上	<p>現状、職域事業部よりも支部の方が事業量が多くなっており、以前とは比べ物にならないくらいの業務量になっていますので、支部長に対する手当などが必要と思います。</p>
十日町	<ul style="list-style-type: none"> ●会員の減少により事業の担当になる会員が固定化しつつある。 ●活動報告については今年度から各役員にそれぞれ事業・報告書作成の担当を決め、事業実施～報告までの流れを作ったが、期日を守らない役員がいる。 ●保健所が主催する高齢者栄養事業について、県より参加費の徴収を指示されているが、保健所（県）の事業は参加費を徴収できないとして今年度以降は主催を十日町支部が担当する事となり、負担が増大した。今年度は在宅医療（栄養）推進事業と絡めて対応できる形にしたが、今後の在宅医療（栄養）推進事業の動きによっては支部として高齢者栄養事業を継続出来るか不明な状況。
魚沼	<p>支部長を仰せつかって1年が過ぎたが、支部長同士でも交流会などがあると情報交換もスムーズになり、支部及び県栄の活動が活性化するのではないかと私見かもしれないが、支部長がもっと相談できる環境が欲しい</p>
佐渡	<p>交流会を計画してもほぼいつもと同じ顔ぶれになり、なかなか参加してくれない会員がいる</p>
長岡	<p>今年度、会員へアンケートをとり、現在まとめている。「負担を減らしてほしい」「（自分の）理になる研修は増やしてほしい。」という回答がとても多い。事業を大幅に減らし、負担はかなり減らしているが、会員の負担を減らすと役員負担が大きくなる。その役員になりたくなくて退会する。堂々巡りでどうするとよいのかわからない。</p>
上越	<p>支部研修会を開催しても15人くらいしか会員が参加しない現状です。）</p>

⇒ どのような経緯か？こちらでも判断をしかねます。
住所により支部がわかれているのか？とも思いますが、県栄で行ってはおけません。支部や職域は自分でチョイスできる制度なので、自分の自宅住所で支部を選んでいる方がいらっしゃる、地域活動がゆえにすすめられて自宅と違う支部にした、などの理由もあったようです。福祉施設の方が、三条支部を選んでいる理由を聞いてみてください。

⇒この結果を参考に、他支部の支部長との交流をはかってください
仲介が必要であれば、ご連絡ください。

⇒支部長への研修会を検討していきます。

今後の支部体制について検討したくアンケート貯砂を実施・検討を行った。

1.この会議を行うことになったことの経緯

支部は地域包括の点でも重要であるため、支部体制の見直しを行うことで、市町村、他職種などとのつながりがはかっているように考えていく。

2.検討

①支部長について

- ・支部により選出方法は異なる。⇒ 現状のまま、各支部に任せる方向。
- ・支部長の選出にあたり必要な条件を再確認した。
 - a、支部をまとめることができる
 - b、県栄の理事として、理事会で意見を述べるができる
 - c、県栄、代表理事、理事間との情報共有を行い、メール等のやり取りを速やかに行う
 - d、県栄の財政状況を理解し、経費の節減等を行う(Zoom 会議の利用など)

②支部役員について

- ・役員の種類は支部によりさまざま。⇒どのようなことをやっているのか調査する。
- ・2023年 支部ありかた検討会で、支部をなくす方向も考えたが、地域包括ケアのブロック別として、支部は大切との判断となった。その際に支部の役員としては、副支部長・事務局・HP委員は必須、他は支部で判断していた。⇒支部役員の業務内容を確認してから、再度、必須の役員を検討する。

③連絡体制について

- ・一斉メールでもよいが、見ていない方も多い。メールアドレス登録がない、メール拒否もいる現状。
- ・連絡体制がないと、退会につながってしまうということもある。
- ・会員登録情報は、個人メールアドレス以外、必要な項目の申請があれば、県栄から知らせている。
- ・支部会員へ周知できている支部では、職域ごとのメールでの連絡、役員のみでの連絡の支部ではLINEの活用が多い。

⇒支部全体ではなく、職域ごとに連絡体制をつくるのがよさそう。必要なデータを県栄に請求し、それぞれの支部に作成をしてもらうようにする。

* メールアドレスは基本職場。地域活動は承認を得て個人アドレス

④支部長について

・ 2年任期で、すべての役員が交替となり、初年度はわからず、わかるころには交替となっている。そのため、繰り返しの説明が必要。(引継ぎがうまくできていないか?)

・ 市町村からの依頼を断ってしまうこともあったので、すべて県栄を通すことにした。

・ 支部長とは何をするのか明確でなく、わかりにくい。

⇒現支部長については、支部長の業務について、10月の理事会で「支部長引継ぎチェックリスト」を説明し、次期支部長選定の参考にしてもらう。

次年度の新規役員に対しても、研修会を行うことを考えていく。

このアンケートのまとめ、検討内容は、支部長へ報告し共有し、10月の理事会でも提案する。

	副支部長	会計	事務局	HP委員	職域	他	役員	保健所オブ ザーバー	幹事	食育	連絡員	地域ケ ア
新潟市	1	1	1	1		6						1
新発田市	1	1		1	4							
村上	1			1			2	1				
十日町	1	1	1	1			1					
魚沼	(1)				6							
柏崎	1		1	1								
佐渡	1	1		1					1			
三条	1	1	1	1						1		
長岡	1		1	1							7	1
上越	1		1		5							1

支部長

新潟市	理事会出席、理事会内容について役員への周知、事業部の会議出席、事業部活動、すべての支部事業の総括・管理、支部研修会の総括、支部役員会の運営、自身が医療職のため医療職域の事業の会議出席、医療職域の事業参加、在宅医療（栄養）推進事業の業務すべて
新発田市	県栄との連絡調整・交流会・研修などについて
村上	支部事業統括、会計、事務局兼務
十日町	支部事業全体の取りまとめ、在宅医療（栄養）推進事業の取りまとめ、事業報告書・会議議事録の取りまとめ、研修会（役員参加）、理事会、自治体・保健所主催の会議への参加
魚沼	支部会（研修）の企画、立案、役員への指示、事務局を兼ねる
柏崎	支部の取りまとめ 支部活動における市との連携 在宅医療推進事業の検討・保健所との連携・研修会の実施 地域ケア担当出席の会議報告確認・提出
佐渡	支部総括、役員会（必要に応じて打合せ等含む）開催、情報交換会開催、会員名簿取得申請依頼、その他調整等
三条	事業計画書の作成等
長岡	各種会議出席、支部活動の総括とりまとめ、各種案内の確認 支部活動の運営指示、理事会での情報や調査について3役へ情報共有する等
上越	支部総会・支部研修会・支部事業の企画・運営・総括 在宅医療（栄養）推進事業の総括 役員会開催の連絡調整・ホスト 理事会出席後の役員への情報発信 上越妙高在宅医療・介護連携推進協議会へ出席

副支部長

必要度

新潟市	副支部長としての業務はなし 研究教育として、新潟市支部研修会の担当。	◎
新発田市	交流会・研修等について	○
村上	支部長代行、役員会出席、支部事業立案、支部事業実行	◎
十日町	支部長の補佐、県議後援会等への参加、支部長が業務継続できなくなった場合の代打	○
魚沼	支部会への参加者とりまとめ	◎
柏崎	支部長の補佐。	◎
佐渡	支部長補佐、役員共有会議録作成	◎
三条	各種連絡調整、名簿関係	◎
長岡	各種会議出席、支部活動の総括とりまとめ、各種案内の確認 支部活動の運営指示、理事会での情報や調査について3役へ情報共有する等	◎
上越	支部総会・支部研修会・支部事業の企画・運営 在宅医療（栄養）推進事業の内容検討・講師依頼 上越食糧・農業農村政策審議会へ出席	◎

会計

必要度

新潟市	福祉東：会計として、新潟市支部研修会の会計の担当（他の支部内の各事業の会計はその事業担当者が実施） 福祉として、歯と口の健康イベント事業の担当	◎
新発田市	事業に関わる金銭の管理	◎
村上	なし	
十日町	事業にかかる会計処理、経費申請書の作成、事業報告書（収支部分）作成	○
魚沼	支部会及び役員会開催後の旅費報告作成	◎
柏崎	なし	×
佐渡	事務局と兼ねる：公益1・2の会計、報告書作成・提出、情報交換会案内文作成・配信依頼☑	◎
三条	会計業務	◎
長岡	なし（昨年度より事務局が兼ねている）	×
上越	なし（事務局が兼ねる）	

事務局

必要度

新潟市	（地域活動）事務局として、新潟市支部事業に関してすべての支部長の相談役、支部役員会の運営。 地域活動として、ヘルスアップレシピと、生活習慣病予防展の担当。	◎
新発田市	各種書類作成（会計兼務）	◎
村上	なし	
十日町	事業にかかる事務業務（開催日程・場所等の調整、資料の用意）、役員への連絡・メール配信、事業報告書（事業内容部分）作成、会議議事録作成	◎
魚沼	なし（当支部では副支部長がその役目を兼ねている）	○
柏崎	運営委員会・研修会等の日程調整、案内作成・発送、議事録作成	
佐渡	事会計と兼ねる：公益1・2の会計、報告書作成・提出、情報交換会案内文作成・配信依頼☑	◎
三条	県栄への各種申請等	◎
長岡	各種案内送付、議事録・旅費計算書作成送付（内容については会議出席者より記載してもらう） 計画書・報告書の作成（3役で確認して県へ送付）	◎
上越	支部総会・支部研修会・支部事業の運営 在宅医療（栄養）推進事業の内容検討 会場手配精算・旅費精算・県栄への報告書作成	◎

HP委員

必要度

新潟市	(公衆衛生) HP委員として、県栄養士会へHPアップの連絡。公衆衛生として、歯と口の健康イベント事業の担当	◎
新発田市	HP用報告書の取りまとめ・県栄事務局への提出	△
村上	役員会出席、新栄HP掲示物の事務局提出	△
十日町	HP用報告書の取りまとめ・県栄事務局への提出	△
魚沼	支部会やその他活動(当会ではFMゆきぐに放送に関する事項が主体)	◎
柏崎	支部活動について原稿作成、県栄HPへの掲載依頼	◎
佐渡	公益1・2のHP用報告書作成・提出、支部おたより作成・各職域へのメール依頼	○
三条	HP関係	◎
長岡	HPへ今年度の計画や報告をアップする手続きを行う。 (依頼含む)	△
上越	※福祉部会長が兼ねる	○

地域ケア担当

必要度

新潟市	昨年は生活習慣病予防展の担当。 今年は主担当なし。	◎
新発田市		
村上		
十日町		
魚沼		
柏崎		
佐渡		
三条		
長岡	支部長の負担軽減のため、支部内の地域栄養ケアに関わる会議等への出席と相談役を行う。	◎
上越	支部総会・支部研修会・支部事業の運営 在宅医療(栄養)推進事業の運営 上越妙高在宅医療・介護連携推進協議会へ出席 在宅医療推進事業の運営・総括	○

その他

必要度

新潟市	勤労者支援	新潟市支部研修会の担当。	◎
	福祉西	歯と口の健康イベント事業の担当	◎
	医療東	昨年は糖尿病を知るつどいイベント事業の担当。今年 は生活習慣病予防展の担当。	◎
	医療西	昨年は糖尿病を知るつどいイベント準備担当。 今年には糖尿病を知るつどい担当。	◎
	学校	歯と口の健康イベント事業の担当	◎
新発田	役員（医療）	交流会・研修等について	○
	役員（福祉）	交流会・研修等について	○
	役員（福祉）	交流会・研修等について	△
	役員（地域）	交流会・研修等について	○
村上	役員	役員会出席、支部事業立案、支部事業実行	○
	オブザーバー	支部内の情報提供、保健所研修会のお知らせ、非栄養 士会会員への連絡等	○
十日町	役員	地域活動担当、地域ケア担当	△
魚沼	なし		
柏崎	なし		
佐渡	幹事	各関係部署や業者との調整（主に市の動きなど）	○
三条	食育☑	食育事業関係	◎
	幹事☑		◎
長岡	連絡員7	各職域への連絡係、12月の支部報告会及び情報 交換会の運営 支部事業の実行委員の長を担う。	◎
	福祉部会長	支部総会・支部研修会・支部事業の運営 在宅医療（栄養）推進事業の運営	○
上越	医療部会長	支部総会・支部研修会・支部事業の運営 在宅医療（栄養）推進事業の運営	○
	健康教育部会長	支部総会・支部研修会・支部事業の運営 上越市食育推進会議へ出席	○
	行政部会長	支部総会・支部研修会・支部事業の運営 在宅医療（栄養）推進事業の運営	○
	地域活動部会長	支部総会・支部研修会・支部事業の運営 在宅医療（栄養）推進事業の運営	○

各種表彰受賞者について

厚生労働大臣表彰 栄養改善事業功労者 折居千恵子氏

日本栄養士会 栄養改善奨励賞（萩原賞）村山 稔子氏

健康づくり功労者県知事表彰 小沼 真理氏

職務執行状況（報告）

《会長 齋藤トシ子》 2025年4月～2025年9月

月 日	曜日	職務内容	会 場
4月3日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
4月7日	月	悠久山栄養調理専門学校令和7年度入学式	ホテルニュー オータニ長岡
4月8日	火	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長、土田部長）	県栄事務局
4月9日	水	国際調理製菓専門学校学生（1～2年生）への講義	国際調理製菓 専門学校
4月15日	火	新潟県福祉保健部（健康づくり支援課、歯科保健係、地域医療政策課長、高齢福祉課、国保・福祉指導課） 新年度挨拶	新潟県庁
4月16日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
4月17日	木	三役（会長、副会長、専務理事）、事務局長会議	クロスパル
4月19日	土	令和7年度在宅医療（栄養）推進事業事業説明会、新潟県栄養士会支部長会議	エゾノブザ
4月21日	月	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
4月21日	月	新潟県栄養士会会務監査立ち合い	県栄事務局
4月24日	木	新潟県栄養士会 2025年度第1回常任理事会	web
4月26日	土	在宅訪問栄養食事指導研修会、事前説明会	エゾノブザ
5月1日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
5月7日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
5月8日	木	新潟県栄養士会 2025年度第1回理事会	web
5月13日	火	新潟県女性財団災害関連事業について協力内容打合せ（齋藤、土田部長）	エゾノブザ
5月15日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
5月15日	木	新潟県栄養ケア・ステーション基金事業打合せ	web
5月19日	月	新潟県消費者協会 2025年度総会および講演会	エゾノブザ
5月22日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
5月26日	月	新たな食料・農業・農村基本計画に関する説明会（北陸ブロック）	web
5月26日	月	80周年記念事業実行委員 第6回打合せ会議	web
5月27日	火	新潟県労働衛生医学協会 令和7年度定時社員総会	ホテルイタリ ア軒
5月28日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
5月29日	木	新潟県学校給食会 令和7年度第1回理事会	県学校給食会
6月2日	月	新潟県老人福祉施設協議会 令和7年度第1回理事会	エゾノブザ
6月3日	火	新潟県国民健康保険団体連合会 令和7年度第1回保健事業支援連絡会議	web
6月5日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
6月9日	月	三役（会長、副会長、専務理事）、事務局長会議	クロスパル

6月10日	火	新潟県栄養士会時総会、80周年事業進行打合せ	web
6月11日	水	新潟県女性財団評議委員会	エゾノブザ
6月14日	土	2025年度新潟県栄養士会定時総会および新潟県栄養士会創立80周年記念事業（式典、講演会、展示）	エゾノブザ
6月16日	月	新潟骨を守る会	web
6月19日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
6月19日	木	新潟県 栄養士会在宅医療(栄養)推進事業 評価委員会	web
6月20日	金	新潟県老人福祉施設協議会総会および理事会	エゾノブザ
6月21日	土	2025年度日本栄養士会定時総会	新大阪7シントホテルブザ
6月22日	日	2025年度日本栄養士会定時総会	新大阪7シントホテルブザ
6月23日	月	新潟県在宅訪問栄養食事指導相談事業評価会	県自治会館
6月25日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
6月26日	月	三役（会長、副会長、専務理事）、事務局長会議	クロスパル
6月30日	月	令和7年度新潟県健診保健指導支援協議会総会	県自治会館
7月3日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
7月3日	木	2025年度新潟県栄養士会第2回常任理事会	web
7月7日	月	フレイル対策二次予防事業等実施報告会	県医師会館大講堂
7月10日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
7月17日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
7月17日	水	2025年度（公社）新潟県栄養士会第2回理事会	web
7月23日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
7月28日	月	令和7年度健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議	県自治会館
7月29日	火	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
7月30日	水	令和7年度第1回新潟県保険者協議会	県自治会館
7月31日	木	令和7年度新潟市食育推進会議	古町庁舎
8月5日	火	大阪万博（日栄アジア栄養士フォーラム参加）	大阪万博会場
8月7日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
8月20日	水	令和7年関東甲信越地区栄養士会・県・連盟合同会議事前打ち合わせ	web
8月21日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
8月25日	月	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
8月27-28日	水木	令和7年関東甲信越地区栄養士会・県・連盟合同会議	ときめいと、NINNO3
9月3日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
9月6日	土	第10回防災推進国民退会ブース展示	朱鷺メッセ
9月9日	火	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
9月9日	火	令和7年度第1回新潟県歯科保健医療対策委員会	県自治会館

9月17日	水	令和8年度基金事業について（福祉保健部との打合せ）	新潟県庁
9月17日	水	事務局関係者会議（R8年度以降の支部運営について）	web
9月18日	木	介護老人保険施設事務局方訪問	三川しんあい園
9月18日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
9月21日	日	新潟県作業療法士協会40周年記念式典・祝賀会	ANA クラウン
9月22日	金	新潟県老協協会会長訪問	エゾノブザ
9月24日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	県栄事務局
9月29日	月	認定栄養CS報告会	クロスパル
9月29日	月	三役（会長、副会長、専務理事）、事務局長会議	クロスパル

会長・副会長・専務理事の職務執行状況（報告）

【期間：2025年4月1日～2025年9月30日】

≪村山副会長≫

No.	月 日	曜日	職務内容	会 場
1	4月17日	木	第1回三役会議	新潟市生涯学習センター
2	4月19日	土	基金事業説明会/支部長会議	新潟県女性センター交流室
3	4月24日	木	第1回新潟県栄養士会常任幹事会	Zoom
4	5月8日	金	第1回新潟県栄養士会理事会	Zoom
5	5月10日	土	日本栄養士会第1回諮問会議	Zoom
6	5月20日	火	栄養士研修会打合せ（研修部・学術部）	Zoom
7	5月26日	月	80周年記念事業打合せ	Zoom
8	6月10日	火	新潟県栄養士会総会打ち合わせ	Zoom
9	6月14日	土	新潟県栄養士会総会および80周年記念事業	新潟市ユニゾンプラザ
10	6月19日	木	在宅医療(栄養)推進事業第1回評価委員会	Zoom
11	6月26日	木	三役会議	新潟市生涯学習センター
12	7月3日	木	新潟県栄養士会常任理事会	Zoom
13	7月17日	土	新潟県栄養士会理事会	Zoom
14	8月20日	水	関東甲信越地区会議打合せ	Zoom
15	8月25日	月	広報事業部役員会	Zoom
16	8月27・28日	水木	関東甲信越地区会議	新潟大学ときめいと他
17	9月3日	水	栄養士大会打合せ	Zoom
18	9月29日	月	認定栄養ケア・ステーション報告会	Zoom
19	9月29日	月	三役会議	新潟市生涯学習センター
20				

会長・副会長・専務理事の職務執行状況（報告）

【期間：2025年4月1日～2026年3月31日】

 << 高橋副会長 >>

No.	月 日		職務内容	会 場
1	4月9日	水	三役会議：常任理事会、理事会の資料及び次第の検討	zoom
2	5月8日	木	第1回理事会	zoom
3	5月10日	土	三条市合併20周年記念式典出席（三条支部長代理）	三条市体育文化会館
4	5月14日	木	令和7年在宅医療栄養推進事業 第1回検討委員会	zoom
5	5月20日	火	栄養士会研修会打ち合わせ	zoom
6	5月26日	月	80周年記念式典打ち合わせ	zoom
7	6月5日	木	令和7年在宅医療栄養推進事業 第1回ツール委員会	zoom
8	6月10日	火	栄養士総会・80周年記念式典打ち合わせ	zoom
9	6月14日	土	栄養士総会・80周年記念式典	新潟ユニゾンプラザ
10	6月19日	木	令和7年在宅医療栄養推進事業 第1回評価委員会	zoom
11	6月26日	木	三役会議：常任理事会、理事会の内容検討	クロスパル新潟
12	7月17日	木	第2回理事会	zoom
13	7月23日	水	災害対策委員会	zoom
14	8月6日	水	学術部会議	zoom
15	8月20日	水	地区会長会議打ち合わせ	zoom
16	8月27日	水	2025年度関東甲信越地区栄養士会長会議（1日目）	ときめいと
17	8月28日	木	2025年度関東甲信越地区栄養士会長会議（2日目）	NINNO3
18	9月3日	水	新潟県栄養士大会2025 第2回Zoom会議	zoom
19	9月17日	水	支部役員についての検討会	zoom
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				

会長・副会長・専務理事の職務執行状況（報告）

【期間：2025年4月1日～2026年3月31日】

≪山田専務理事≫

No.	月 日	曜日	職務内容	会 場
1	4月3日	木	3MEG	事務局108号室
2	4月7日	月	税理士決算報告	事務局108号室
3	4月8日	火	3MEG	事務局108号室
4	4月9日	水	災害対策委員会	Zoom
5	4月10日	木	K様認定栄養ケア・ステーション申請書類対応	事務局108号室
6	4月15日	火	県挨拶訪問	新潟県庁
7	4月16日	水	3MEG	事務局108号室
8	4月16日	水	第1回地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会	Zoom
9	4月17日	木	三役会議	クロスパル新潟301講座室
10	4月19日	土	魚沼地域医療栄養ケア打ち合わせ	新潟ユニゾンプラザ1階ロビー
11	4月19日	土	基金説明会・支部長会議	新潟ユニゾンプラザ女性団体交流室2
12	4月21日	月	3MEG	Zoom
13	4月21日	月	会務監査	Zoom
14	4月23日	水	県警（留置課）訪問挨拶	事務局108号室
15	4月24日	木	第1回常任理事会	zoom
16	4月26日	土	フレイル訪問事業説明会	新潟ユニゾンプラザ中研修室
17	4月30日	水	ユニゾンプラザ多目的ホール使用打合せ	新潟ユニゾンプラザ多目的ホール・事務室
18	5月1日	木	三条市役所相談	Zoom
19	5月1日	木	3MEG	事務局108号室
20	5月7日	水	3MEG	事務局108号室
21	5月8日	木	第1回理事会	Zoom
22	5月9日	金	第1回地域包括ケア支援専門職協議会実行委員打ち合わせ	Zoom
23	5月15日	木	3MEG	事務局108号室
24	5月15日	木	基金第1回検討委員会	Zoom
25	5月21日	水	税理士収支報告	事務局108号室
26	5月22日	木	3MEG	事務局108号室
27	5月26日	月	80周年記念式典実行委員会	Zoom
28	5月28日	水	3MEG	事務局108号室
29	6月4日	水	留置施設視察委員会任命式&第1回会議	新潟県警本部
30	6月5日	木	3MEG	事務局108号室
31	6月5日	木	基金第1回ツール委員会	Zoom
32	6月9日	月	3MEG	事務局108号室
33	6月9日	月	フレイル報告事前打ち合わせ	事務局108号室
34	6月13日	金	阿賀野市地域ケア個別会議見学	阿賀野市役所
35	6月14日	土	定時総会（ユニゾン）	新潟ユニゾンプラザ
36	6月16日	月	地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会	Zoom
37	6月19日	木	3MEG	事務局108号室

38	6月19日	木	北陸農政局 来局対応	事務局108号室
39	6月19日	木	在宅医療（栄養）評価委員会	Zoom
40	6月23日	月	広域連合同フレイル報告会	新潟県自治会館
41	6月24日	火	HP委員会	Zoom
42	6月25日	水	3MEG	事務局108号室
43	6月26日	木	三役会議	クロスパル新潟303講座室
44	6月30日	月	上越支部打ち合わせ	Zoom
45	7月3日	木	3MEG	事務局108号室
46	7月3日	木	常任理事会	Zoom
47	7月7日	月	第4回CSセミナー講師打ち合わせ	事務局108号室
48	7月9日	水	事務局ミーティング	事務局108号室
49	7月10日	木	3MEG	事務局108号室
50	7月10日	木	地域包括ケア専門職協議会実行委員打ち合わせ	Zoom
51	7月16日	水	税理士収支報告	事務局108号室
52	7月17日	木	3MEG	事務局108号室
53	7月17日	木	理事会	Zoom
54	7月23日	水	3MEG	事務局108号室
55	7月23日	水	災害対策委員会	Zoom
56	7月24日	木	燕署留置施設視察	燕警察署
57	7月29日	火	3MEG	事務局108号室
58	7月30日	水	米ふれあい事前研修会	東区プラザ
59	8月6日	水	関東甲信越地区栄養士会長会議各会場事前見学	各会議会場
60	8月7日	木	3MEG	事務局108号室
61	8月25日	月	3MEG	事務局108号室
62	8月27日	水	関東甲信越地区栄養士会長会議	ときめいと
63	8月28日	木	関東甲信越地区栄養士会長会議	NINNO3
64	9月1日	月	佐渡署留置施設視察	佐渡警察署
65	9月3日	水	3MEG	事務局108号室
66	9月9日	火	3MEG	事務局108号室
67	9月10日	水	事務局ミーティング	事務局108号室
68	9月18日	木	税理士収支報告	事務局108号室
69	9月18日	木	3MEG	事務局108号室
70	9月24日	水	3MEG	事務局108号室
71	9月29日	月	認定栄養CS報告会	クロスパル新潟303講座室
72	9月29日	月	三役会議	クロスパル新潟303講座室
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				

2026年度事業予算提出の留意事項等について

【留意点】

1 計画作成に当たっては、必ず事業を振り返り、必要性・成果等を総合的に判断し、必要な事業の実施計画を提出してください。

2 市町村など地方自治体や関係団体からの依頼事業は、事業名の後に主催団体名をカッコ書きで記入ください。

記入例：〇〇まつり（主催：〇〇市〇〇課）

3 事業内容の記入方法

・当日の実施内容だけでなく、事前の打合せ会議（実行委員会）も、予定回数も併せて記入ください。

・市町村など地方自治体や関係団体から当日の日当・旅費・材料費等が支給される場合は、参考までに事業内容の欄にその旨を記入してください。

4 事業実施において、事業規模や参加者数に見合った役員数で従事してください。

役員は当番制で従事するなど、役員負担の軽減及び経費削減に配慮をお願いいたします。

5 予算作成上の確認

① 旅費日当について

役員会・・会場開催は旅費のみ、Zoom開催は日当500円

会議はZoom開催を主体としてください。

公益1・2事業・・事業当日は旅費+日当

（4時間未満500円、4時間以上1000円）

打ち合わせ会議は役員会に準ずる。

【事業計画書の提出等】

○事業計画書（様式）は2025年度版を用いて作成してください。

年度・日付・作成者名および内容を加筆修正し、2026年度計画しない事業は赤字で計画なしと記載し、新たな計画はシートを追加して欄外に「新規事業」と記載し作成してください。

12月11日（木）までに提出願います。締切厳守

○提出いただいた計画書は、事業部理事が内容の精査を行います。

精査の結果、修正が必要な場合は連絡をいたしますので、対応をお願いします。

【連絡】

① 2026年度の新潟県・市町村防災訓練は阿賀町（予定）となりますので、新潟支部長が会議の参加となります。（2025年度は出雲崎町で開催でした）

事業計画、予算は今年度を参考に県栄で作成し、新潟支部長にご確認いただきます。

② 毎年がん征圧新潟県大会 & 生活習慣病予防展が開催され、開催地の支部に参加をお願いしております。

2026年度の開催地は未定なので、わかり次第担当支部にご連絡します。

その際は生活習慣病予防展でのブースでの展示、栄養指導をお願いします。

（2025年度は新潟市で開催のため担当は新潟市支部でした）

③ 支部交流会では栄養ケア担当者の情報提供もお願いします。

介護食

むせない工夫
食べやすい工夫
など

簡単調理実習

男性・独居・
介護者向け
フレイル予防・
認知症予防 など

お惣菜の
組み合わせ方
紹介

地域包括支援センターの
皆様へ

栄養ケア・ステーションの
管理栄養士・栄養士が
皆様のお客様の『食事の悩み』
に応えます！



お茶の間や
オレンジカフェ等で
ミニ講話

フレイル予防、
熱中症予防など

デイサービスの栄養相談

栄養改善加算

栄養アセスメント加算

※介護保険を使うため、
デイサービスとの契約が必要

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ

公益社団法人 新潟県栄養士会
栄養ケア・ステーション

☎ 025-224-7501
(月) ~ (木) 9:00-16:00
✉ n.eiyou-cs@forest.ocn.ne.jp

地域包括ケアの鍵となるのは栄養と食事

～地域住民（高齢者）の自立した生活に向けた取り組み～

